

高畠町立小学校教育環境等検討委員会

第4回会議録

日 時：令和7年5月19日（月）午後6時30分～午後8時20分

場 所：高畠町役場 大会議室

出席者：検討委員会委員15名、事務局4名

◇開会

◇委員長あいさつ

こんばんは。お集まりいただきましてありがとうございます。第4回となりました。本日も限られた時間ではありますが忌憚のないご意見をいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

◇協議

事務局 それでは早速協議に入ります。座の取りまとめを委員長にお願いいたします。

委員長 第3回では、グループワークで15年後に20歳を迎えるお子さんの将来像を考え、どういう事を大事にしていくかご意見をいただきました。「レジリエンス」とか「他者との関わり」を大事にしていきたいというご意見をいただいたかと思いますが、本日は現状を見てもらいたいと事務局からありましたので、高畠町のお子さんたちの様子とそれに関わる環境について事務局から話題提供していただきます。

事務局 学力・学習状況調査結果から、高畠町の子どもたちの「力」の現状を説明する。

委員長 得点が高いか低いかはあまり問題ではないと思っていますが、普段子どもたちと接している先生（委員）から感じていることなどお話しいただけますでしょうか。

委 員 自己肯定感のところで、将来の夢や目標の他に、先生たちが自分の良い所を認めてくれるとかそういう所が高かった印象がありました。ただ目を向けなければいけないのは、そう思っていない生徒が少なからずいる、生活習慣でも朝食を食べてこない生徒もいるということで、そういう子どもたちを減らしていくことも大事だと感じています。地域社会との関わりについては、公民館等を通じて各地区行事で子どもたちが活躍できる場を設けられないかと考えています。

委員長 話題提供された内容について皆さんからもご意見やご質問などいただきたいと思いますので、暫時の間お隣の方とお話してみてください。

委員長 それではお一人ずつ考えたこと、感じたことなどお話しいただきたいと思います。

委 員 コミュニケーションのところの「他者との比較」について、そもそもどのような設問内容だった

たのでしょうか。

委員長 関連して、他に聞いてみたいことがありましたらお願いします。

委 員 小学6年生と中学3年生が対象とのことでしたが、小学生も中学生も同じ結果だったのか、違いはなかったのか教えてください。

委 員 いじめ防止について、全国平均よりも良いとのことですが、本当に子どもたちがいじめ防止について理解しているのか心配になりました。

委員長 ひとまずここまでで事務局から回答をお願いします。

事務局 コミュニケーションについては、項目は3つあります。1つ目は学校に行くのが楽しい、2つ目は自分と違う意見について考えるのが楽しい、3つ目が友達関係に満足している、というのがありまして、1つ目と3つ目は全国平均以上ですが、2つ目は平均以下でしたので「弱み」としました。小学校と中学校で同じ結果だったのかというご質問でしたが、結果が同じ傾向のものをご紹介しました。またいじめ防止については、「いじめはどんなことがあってもいけないことだと思う」と9割以上が回答しています。実際はどうかと聞かれると把握し兼ねるところですが子どもたちの意識では分かっているということになります。

委 員 ICTに関連して、最近はタブレット端末を持ち帰ってこないのですが町としてはどのようにしているのですか。

事務局 町としてはタブレット端末の持ち帰りを推奨していますが、学校によって差はありますが端末の破損などを懸念して持ち帰りに繋がっていない学校もあるようです。

委員長 質問は一旦ここまでにして、ここは良いのではないかと共有できることがありましたらご紹介いただきたいと思います。

委 員 いろんな経験をしながらいろんな人と出会い、いろんな刺激や想いを受けて自分の考えを持つことが大切だと感じました。

委 員 「強み」の中に学習の重要性とあるのですが、子どもたちは勉強は大事だと思っているのですが、知識を深められる環境にない子どもたちがたくさんいて、強みとして捉えるにはギャップがあるのかなと思いました。

委 員 質問項目に「あなたは新聞を読んでいますか」という設問があるのですが、全国と比較してもかなり低い結果でした。今はインターネットでニュースを見る人が多いでしょうが、段々と自分の興味がある情報しか見なくなってしまう。偏りなく情報を仕入れて知識を広げていくことが課題だと思っています。

委 員 「弱み」に挙げられている他者とのコミュニケーションとかタブレットの持ち帰りとか学校側の指導体制を表していると思います。違う意見に触れるのが楽しいとか友達関係に満足しているとか授業の中で感じていることは良かったと思います。

委員長 ありがとうございます。ではここからは、学校を外から支える環境について、お隣の方とおしゃべりしてみてください。

- 委員長 では、一言ずつご発言いただきたいと思います。
- 委員 コロナ禍もあって子どもたちが地域との関わり方が希薄になっている。地域活動に参加して大人と関わるのが大事なかなと思います。
- 委員 学校と地域の人たちをつなげる仕事をしていますが、学校にどこまで踏み込んでいいのか未だに分からないでいます。人手が足りないので地域の方の支援が欲しいという学校からの要望に応えています、こちらから学校に提案することは難しい環境だと感じています。
- 委員 子どもが挑戦し大人が応援する町になると活気付くと思います。子どもたちが安心できる場所や、やりたいことを素直に話せる場所がもっと増えたらいいなと思います。
- 委員 学校はやらなければならないことがいっぱいあって、ここに書いてある通り学校を外から支える環境が大事だと思います。放課後子どもクラブへの参加児童が多く、それを手伝ってくれる大人も大事だと思っていて、まだまだ眠っている人材がたくさんいると思うので発掘していくことが必要だと思います。地区や町の事業で学校と近い活動をしている組織との繋がりや情報共有も大事だと思います。
- 委員 「弱み」にあった地域、社会との関わりに注目しました。地域のお祭りや活動に子どもたちが参加して家族以外の大人と会話したり、大人が声をかけてあげたり、子どもたちにとっては新鮮なことだと思いますのでそういう機会を与えていけば改善されていくのではないかと思います。
- 委員 地区の公民館を遊びや学習の場として子どもたちを集めて、それに関わってくれる大人も集めて、子どもたちがやりたいことをやらせたり、地域の困りごとに対して何かできることはないか話をしたり、何か働きかけが出来ればと思っています。大人が楽しんでいる姿を見てもらって、自分も関わろうと思ってもらえたらと考えています。
- 委員 学校現場では教員の数が足りていない状況だと伺いました。ここ2週間、陸上を教えに学校へ行っています。子どもたちにとって大事なものは成功体験だと思いますが、練習内容はただ走らせているだけのように見えます。少し理屈を教えてあげると記録が伸びる。そうするともっと子どもたちは練習する。先生方にはもっと地域の保護者に頼ってほしいなと思います。先生方と保護者・地域とのより緊密な関係性が必要ではないかと思います。
- 委員 学校からぶどうについて教えてほしいと依頼があり、先日5年生の児童が我が家でぶどうのジベレリン処理を体験しました。当初はジベ処理だけの体験と考えていましたが、販売まで体験してもらおうと考えています。子どもたちには知らなかったことを知ってもらって、自分の将来に何か繋げられたら子どものためになるのではないかと思います。
- 委員 先日複式学級の授業を見学しました。メリット・デメリットの説明も伺いました。私が住む地区の小学校も何年かすると複式学級が出てきます。個人的にはたくさんの同級生と関わってコミュニケーション能力を高め、目標に向かってより専門的に学べるような環境を作ってあげられたらいいかなと思いました。
- 委員 各集落に育成会がありますが、参加する子どもの数が減ってきています。大人がもっと関わり

を持ってあげないと狭い地域では狭い交友関係しか作れないと思います。地区で括るのではなく町全体で出来ることがあればいいのではないかと思います。

委員 地域との関わりが大切だと思っています。先日園児が地元の魚屋さんに魚の解体を見せてもらいながら魚の体の仕組みや命について学ばせてもらいました。地域の方と関わり、体験することで関心が広がったり、知るきっかけとなって新たな自分の目標や夢が見つかる機会になると思います。目標を持つことで意欲が湧いてきて、意欲によって学習に向かっていく力に繋がっていくのではないかと思います。

委員 地域の人と関われる職場体験や商店街を見学するなどの機会があればいいなと考えています。学校以外での体験を通してやりたいことや夢を見つけるきっかけになるのではないかと考えています。

委員長 ありがとうございます。お子さんにとって良い環境をどう作っていくか、学校の中でできることと地域の人との関りで出来ることを一緒に議論していくことも必要だと思います。

事務局 学校の外的環境について、高畠町の強み、弱み（課題）を説明する。

事務局 今後の検討内容の方向性について、委員からご意見を求める。

委員 小学校の再編統合について話し合いができる場だと思っていました。ですがなかなか議題が出てこないのそういう場ではないのかなと思いました。統合に向けての強み、弱み、子どもたちをどう育てていくかの検討なのかなと思っていました。他の委員の皆さんはどう思っているのか、今後の方向という事でしたので発言させていただきました。

委員長 日本全国これだけ子どもの数が減ってくると現状を維持することは難しいと思います。子どもの数が減ってくると学校の先生の数も減ってきてしまいます。そういう事も踏まえると統合していくことも必要ではないかと思っています。議論しなければならないことはどんなペースでどのように統合を進めていくのか、どんな学校を作っていくか、地域と繋がる仕組みづくりをどうしていくか、統合を見据えて必要な環境はどういうことか、選択肢、議論の土俵を作っていくことだと思います。

委員 委員長の話を伺って、私たちのミッションは1校にするのか2校にするのか結論を出すのではなく、統合に進むのであればこういう環境整備が必要だとか、様々な環境について意見を出していくことだと思います。

委員 この検討委員会に入っている私たちには大きな責任があると思いますが、気を付けなければならないのは、統合になるという話が先走ってしまわないように、まだ検討中だということを私たちも説明していかなければならないと感じています。

委員長 子どもたちの将来を考え、学校をどんな風にしていくのか、地域との関係をどうしていくのかトータルで考えていただきました。今日の協議はここまでにしたいと思います。ありがとうございました。

◇その他

事務局 委員長ありがとうございました。

ここで、第3回検討委員会の会議録について何かございましたらご指摘いただきたいと思います。

(発言なし)

◇閉会

事務局 それでは以上を持ちまして第4回検討委員会を閉じさせていただきます。ありがとうございました。